

八尾市  
中学校卒業後の子どもに関する  
アンケート調査結果報告書

令和6年3月

八 尾 市



# 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	本調査におけるヤングケアラーの定義	3
III	調査結果	5
	(1) あなたについて	5
	(2) ふだんの生活について①	6
	(3) ふだんの生活について②	10
	(4) ふだんの生活について③	12
	(5) 家族や家庭のことについて	14
	(6) ヤングケアラーについて	25
	(7) 回答者属性	27
	(8) 自由意見	28
IV	まとめと考察	32
	(1) 八尾市におけるヤングケアラーの現状	32
	(2) ヤングケアラーの健康状態や生活状況	32
	(3) ヤングケアラーの認知度	32
	(4) ヤングケアラーについての相談	33
	(5) ヤングケアラーが求める支援	33
V	参考資料（市立小・中学校における子どもの状況把握について）	34
	調査票	36



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話を日常的に行う子どもいわゆる「ヤングケアラー」の課題や実態を把握するため、中学校卒業後の高校1年生から高校3年生相当の年齢（平成17年4月2日～平成20年4月1日生まれ）の子ども（以下「高校生等」という。）を対象にアンケート調査を実施し、ヤングケアラーに該当する子どもが担っているケアの状況やケアによる生活への影響、支援ニーズ等を把握し、支援のあり方について検討しました。

なお、アンケート調査の実施を通じて調査対象者に相談できる場所や機関があることを周知し、当事者の相談支援につなげる機会としました。

## 2 調査対象

調査対象	調査対象者
平成17年4月2日～平成20年4月1日生まれの方 （高校1年生から高校3年生相当の年齢の方）	7,020人

## 3 調査期間

令和5年10月30日～令和5年11月24日

## 4 調査方法

郵送配付・郵送回収及びインターネット回答

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
中学校卒業後の子どもに関するアンケート調査	7,020通	1,612通 (WEB：1,270通、郵送：342通)	23.0%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です
- ・報告書では4つの項目（①～④）について、「令和4年度 府立高校におけるヤングケアラー調査」（令和4年大阪府実施）との比較を掲載しています。このうち項目②③④については、大阪府の調査結果が「世話をしている家族がいる」と答えた回答者のみに限定した集計を行っていることを踏まえ、本調査における【質問7】（1）で、「どれもあてはまらない」以外を選択した方（家族のいずれかの方をお世話している方）のみに限定した集計を行ったうえで比較を行っています。

### 「令和4年度 府立高校におけるヤングケアラー調査」

調査対象：府立高校生全員（109,264人）

調査手法：各府立高校において、1人1台端末等を活用し、ウェブ上で回答（回答は任意）

調査期間：令和4年7月から9月

回答者数：80,855人 回答率：74.0%

（参考）大阪府調査結果との比較項目の内容と掲載箇所

- ①「世話をしている家族の有無」： 【IV 本調査におけるヤングケアラーの定義】
- ②「世話の頻度」「世話に費やす時間」：【質問7（3）】【質問7（4）】
- ③「相談経験の有無」： 【質問8（1）】
- ④「希望する支援」： 【質問9】

## Ⅱ 本調査におけるヤングケアラーの定義

本調査では、以下の設問において①～⑥のいずれかを選択した回答者を八尾市におけるヤングケアラーとみなして分析を行っています。

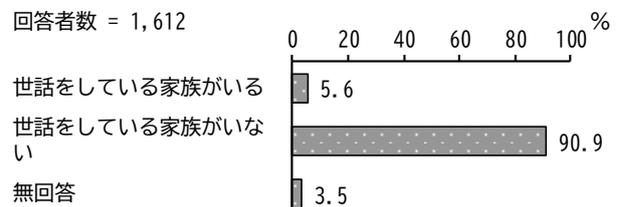
【質問7】 家族の世話をしている人にお聞きします。世話をしていない場合は、「どれもあてはまらない」を選択してください。

(1) 誰の世話をしていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- |              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| ① 母親         | ② 父親    | ③ 祖母    |
| ④ 祖父         | ⑤ きょうだい | ⑥ その他の人 |
| ⑦ どれもあてはまらない |         |         |

【質問7】の①～⑥のいずれかを選択した「家族の世話をしている方＝ヤングケアラー」は、右の通り回答者全体の5.6%(90件)となっています。

回答者数 = 1,612



### 【性別の状況】

性別にみると、「世話をしている家族がいる」割合に大きな差はみられません。ヤングケアラーの支援においては、男女を問わない対応が必要になることが示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	世話をしている家族がいる	世話をしている家族がない	無回答
全体	1,612	5.6	90.9	3.5
女性	794	5.3	91.4	3.3
男性	724	5.9	91.3	2.8
答えたくない	43	7.0	83.7	9.3

### 【就学・就労状況別の状況】

就学・就労状況別にみると、世話をしている家族がいる方において「高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている」との回答が95.6%（86件）と大部分を占めています。また、「就労している」では0.0%（0件）、いずれにもあてはまらない「その他」では4.4%（4件）の回答がありました。

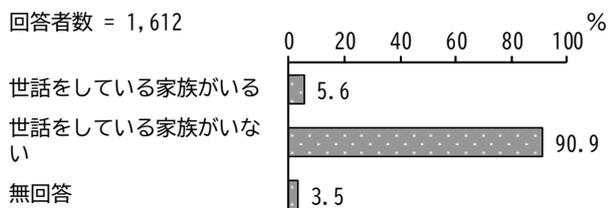
区分	回答者数(件)	高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている	就労している	その他	無回答
全体	1,612	98.0	0.6	1.2	0.2
世話をしている家族がいる	90	95.6	—	4.4	—
世話をしている家族がいない	1,465	98.2	0.6	1.0	0.2

### 【大阪府との比較】

八尾市では「世話をしている家族がいる」との回答が5.6%（90件）となっており、大阪府と比較した場合は、5.8ポイント少なくなっています。

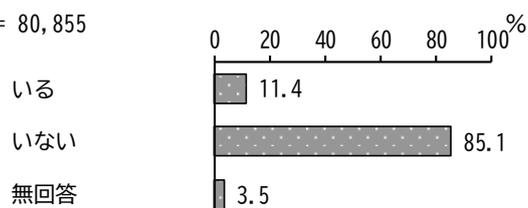
#### 【八尾市調査】

回答者数 = 1,612



#### 【大阪府調査】

回答者数 = 80,855



### Ⅲ 調査結果

#### (1) あなたについて

【質問1】あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

「よい」の割合が51.8%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が20.5%、「ふつう」の割合が17.1%となっています。

回答者数 = 1,612

よい

まあよい

ふつう

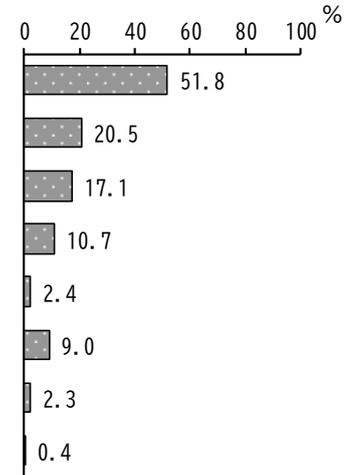
身体がときどきしんどい

身体がいつもしんどい

心がときどきしんどい

心がいつもしんどい

無回答



#### 【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者において、「身体がときどきしんどい」「心がときどきしんどい」の割合が高くなっています。家族の世話が心身に負の影響を及ぼしていることが示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	よい	まあよい	ふつう	身体がときどきしんどい	身体がいつもしんどい	心がときどきしんどい	心がいつもしんどい	無回答
全体	1,612	51.8	20.5	17.1	10.7	2.4	9.0	2.3	0.4
世話をしている家族がいる	90	41.1	15.6	17.8	17.8	4.4	15.6	5.6	1.1
世話をしている家族がいない	1,465	52.9	20.8	17.0	10.2	2.1	8.2	2.1	0.3

【質問2】 あなたのふだんの活動について教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

「高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている」の割合が98.0%、「就労している」の割合が0.6%となっています。

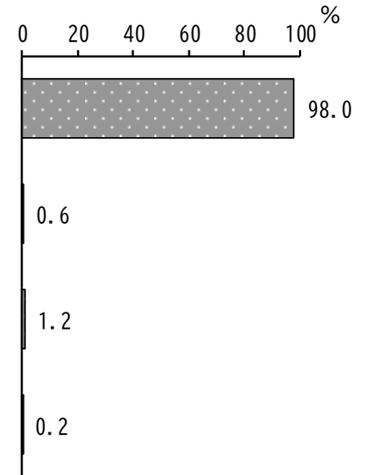
回答者数 = 1,612

高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている

就労している

その他

無回答



【①高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている方へ】  
（2） ふだんの生活について①

【質問3】 学校への出席状況等について教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

（1）欠席

「まったくない」の割合が46.4%と最も高く、次いで「ほとんど欠席しない」の割合が35.8%、「たまに欠席する」の割合が11.5%となっています。

回答者数 = 1,579

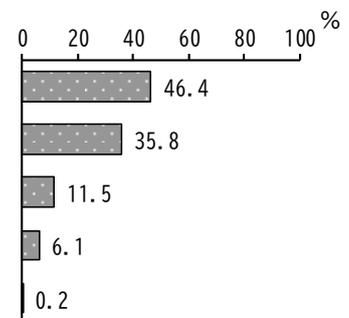
まったくない

ほとんど欠席しない

たまに欠席する

よく欠席する

無回答



### 【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者は、「よく欠席する」割合が高く、「まったくない」割合が低くなっています。家族へのケアによって学校生活に影響が出ている可能性があります。

単位：％

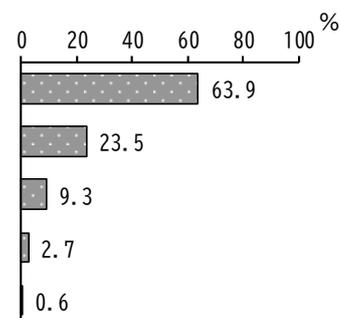
区分	回答者数(件)	まったくない	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
全 体	1,579	46.4	35.8	11.5	6.1	0.2
世話をしている家族がいる	86	33.7	39.5	15.1	11.6	—
世話をしている家族がいない	1,438	47.5	35.6	10.9	5.8	0.2

### (2)遅刻

「まったくない」の割合が63.9%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が23.5%となっています。

回答者数 = 1,579

まったくない  
ほとんどしない  
たまにする  
よくする  
無回答

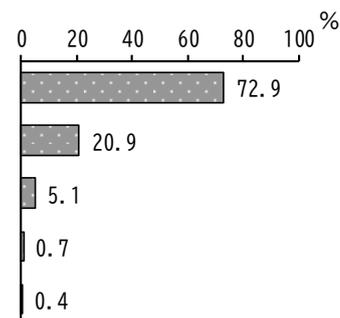


### (3)早退

「まったくない」の割合が72.9%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が20.9%となっています。

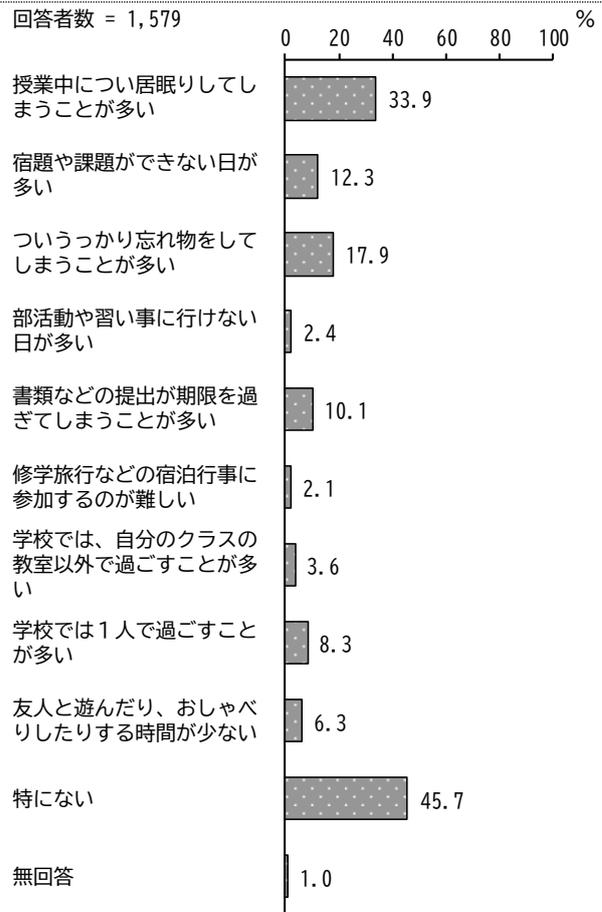
回答者数 = 1,579

まったくない  
ほとんどしない  
たまにする  
よくする  
無回答



【質問4】心だんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。  
(あてはまる番号すべてを選択)

「特にない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「授業中につい居眠りしてしまうことが多い」の割合が33.9%、「ついうっかり忘れ物をしてしまうことが多い」の割合が17.9%となっています。



【世話をしている家族の有無別】

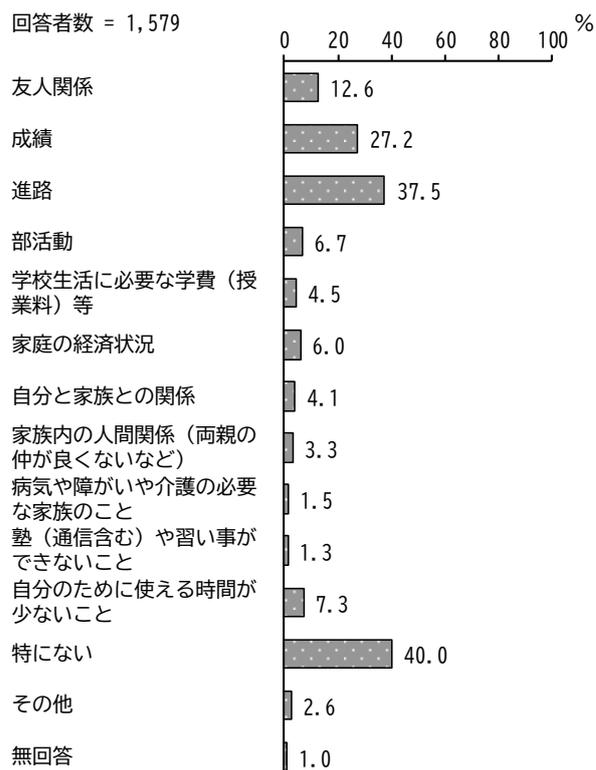
世話をしている家族がいる回答者において「宿題や課題ができない日が多い」「学校では1人で過ごすことが多い」の割合が高くなっています。世話をしている家族がいる回答者が学習に十分な時間をとることができていない、あるいは友人との時間をとることができていない状況にある可能性が示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	授業中につい居眠りしてしまうことが多い	宿題や課題ができない日が多い	ついうっかり忘れ物をしてしまうことが多い	部活動や習い事に行けない日が多い	書類などの提出が期限を過ぎてしまうことが多い	修学旅行などの宿泊行事に参加するのが難しい	学校では、自分のクラスの教室以外で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体	1,579	33.9	12.3	17.9	2.4	10.1	2.1	3.6	8.3	6.3	45.7	1.0
世話をしている家族がいる	86	34.9	18.6	20.9	3.5	12.8	5.8	7.0	14.0	8.1	33.7	—
世話をしている家族がいない	1,438	34.0	11.9	17.5	2.3	10.0	1.8	3.5	7.9	6.0	46.4	1.0

【質問5】現在、悩みや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「特にない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「進路」の割合が37.5%、「成績」の割合が27.2%となっています。



【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者は、「自分と家族の関係」「病気や障がいや介護の必要な家族のこと」について悩んでいる傾向がみられます。また、「成績」など学業に関する悩みを抱えていることも示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	友人関係	成績	進路	部活動	学校生活に必要な学費(授業料)等	家庭の経済状況	自分と家族との関係	家族内の人間関係(両親の仲が良くないなど)	病気や障がいや介護の必要な家族のこと	塾(通信含む)や習い事ができないこと	自分のために使える時間が少ないこと	特にない	その他	無回答
全体	1,579	12.6	27.2	37.5	6.7	4.5	6.0	4.1	3.3	1.5	1.3	7.3	40.0	2.6	1.0
世話をしている家族がいる	86	16.3	41.9	41.9	8.1	8.1	10.5	10.5	8.1	9.3	1.2	9.3	27.9	8.1	1.2
世話をしている家族がいない	1,438	12.3	26.6	37.3	6.5	4.3	5.6	3.8	3.0	1.1	1.3	6.9	41.2	2.2	0.9

【② 就労している方へ】

(3) ふだんの生活について②

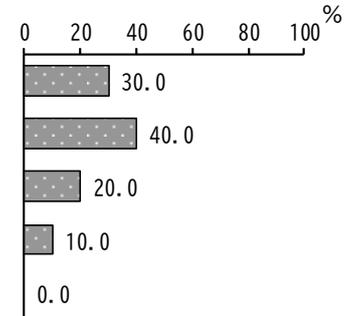
【質問3】勤務状況について教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

(1) 勤務日に休むこと

「ほとんど休まない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「まったくない」の割合が30.0%、「たまに休む」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 10

まったくない  
ほとんど休まない  
たまに休む  
よく休む  
無回答

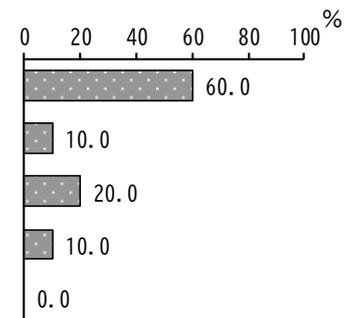


(2) 遅刻

「まったくない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「たまにする」の割合が20.0%、「ほとんどしない」の割合が10.0%、「よくする」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 10

まったくない  
ほとんどしない  
たまにする  
よくする  
無回答

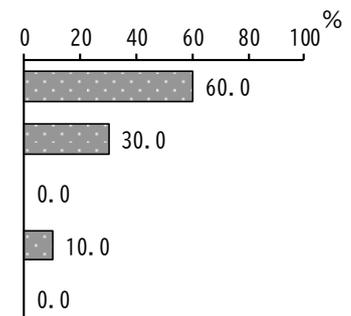


(3) 早退

「まったくない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が30.0%、「よくする」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 10

まったくない  
ほとんどしない  
たまにする  
よくする  
無回答

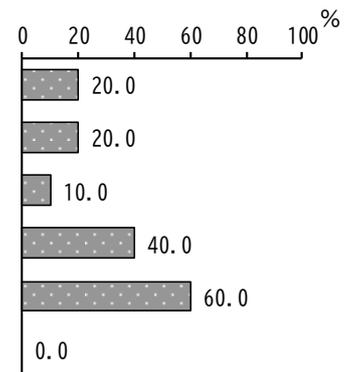


【質問4】 心だんの就労生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。  
（あてはまる番号すべてを選択）

「特にない」の割合が60.0%と最も高く、次いで「友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」の割合が40.0%、「勤務中に眠くなるなど仕事に集中できない日が多い」、「家の事情で趣味などの活動ができないことが多い」の割合が20.0%となっています。

回答者数 = 10

勤務中に眠くなるなど仕事に集中できない日が多い  
家の事情で趣味などの活動ができないことが多い  
職場では1人で過ごすことが多い  
友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない  
特にない  
無回答

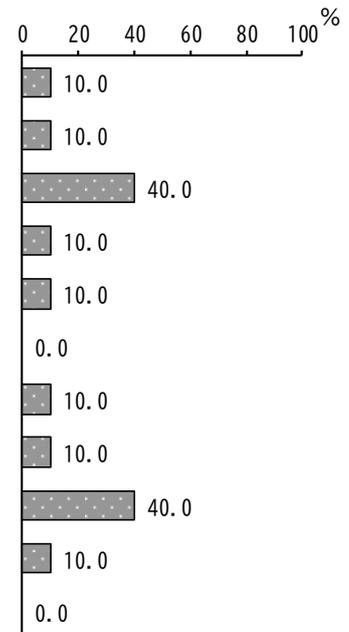


【質問5】 現在、悩みや困っていることはありますか。（あてはまる番号すべてを選択）

「家庭の経済状況」、「特にない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「友人関係」、「自分の経済状況」等の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 10

友人関係  
自分の経済状況  
家庭の経済状況  
自分と家族との関係  
家族内の人間関係（両親の仲が良くないなど）  
病気や障がいや介護の必要な家族のこと  
家の事情で趣味などの活動ができないこと  
自分のために使える時間が少ないこと  
特にない  
その他  
無回答



【③ その他を選択された方へ】

(4) ふだんの生活について③

【質問3】 現在、就職や進学をしていない理由について教えてください。  
(あてはまる番号すべてを選択)

「意欲がわからない」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「病気・ケガ」、「人間関係に不安」、「特にない」の割合が 20.0%となっています。

回答者数 = 20

病気・ケガ

人間関係に不安

保護者の希望

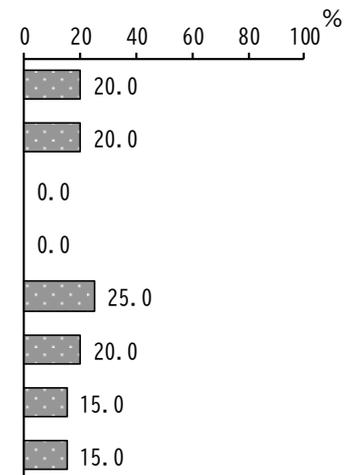
家事や家族の世話や介護で忙しい

意欲がわからない

特にない

その他

無回答



【質問4】 現在、就職または進学を希望していますか。

「進学希望であり、進学に向けた活動をしている」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「就職希望であるが、就職活動はしていない」の割合が 20.0%、「進学希望であるが、進学に向けた活動はしていない」の割合が 10.0%となっています。

回答者数 = 20

就職希望であり、就職活動をしている

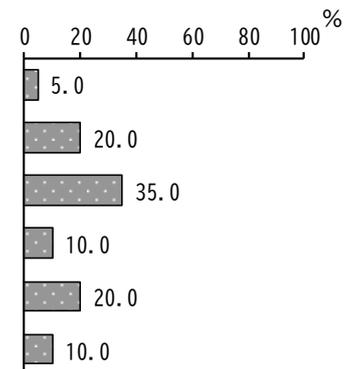
就職希望であるが、就職活動はしていない

進学希望であり、進学に向けた活動をしている

進学希望であるが、進学に向けた活動はしていない

その他

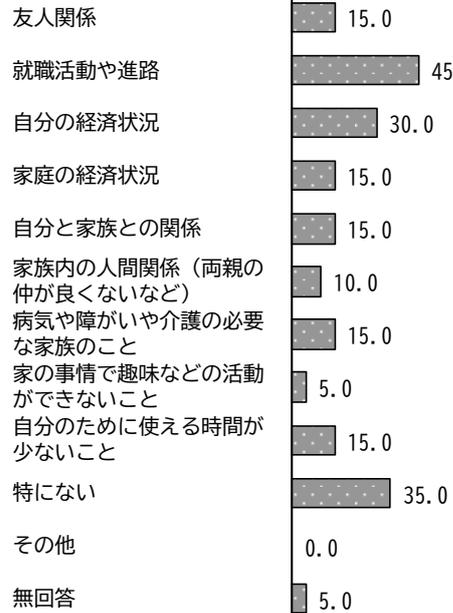
無回答



【質問5】現在、悩みや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「就職活動や進路」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 35.0%、「自分の経済状況」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 20

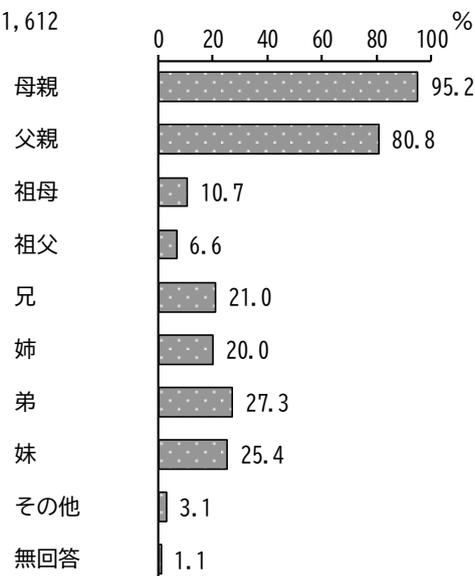


【以下、共通】

### (5) 家族や家庭のことについて

【質問6】あなたが現在、一緒に住んでいる家族（仕事や進学など離れて暮らしている家族を除く）について教えてください。（あてはまる番号すべてを選択）

「母親」の割合が95.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が80.8%となっています。回答者数 = 1,612



#### 【世話をしている家族の有無別】

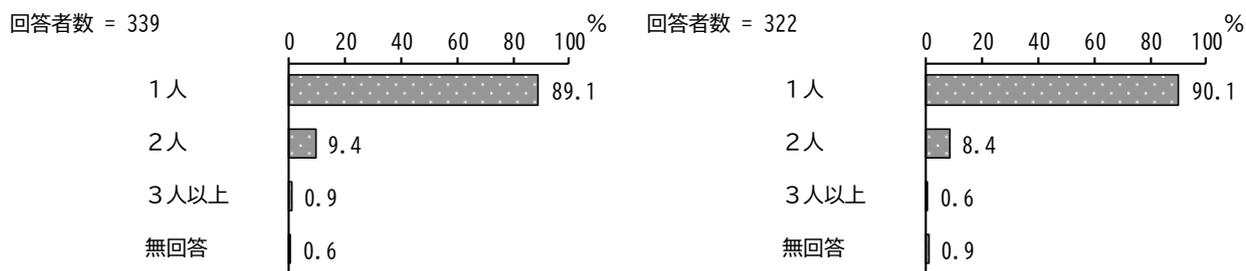
【質問6】を家族構成のタイプ別に集計し、世話をしている家族の有無別にその傾向をみた場合、世話をしている家族がいる回答者において「ひとり親家庭」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	二世代世帯 (ふたり親家庭)	三世代世帯	ひとり親家庭	その他世帯	無回答
全体	1,612	71.2	7.8	17.9	2.0	1.1
世話をしている家族がいる	90	61.1	11.1	24.4	3.3	—
世話をしている家族がない	1,465	72.3	7.7	17.7	1.9	0.4

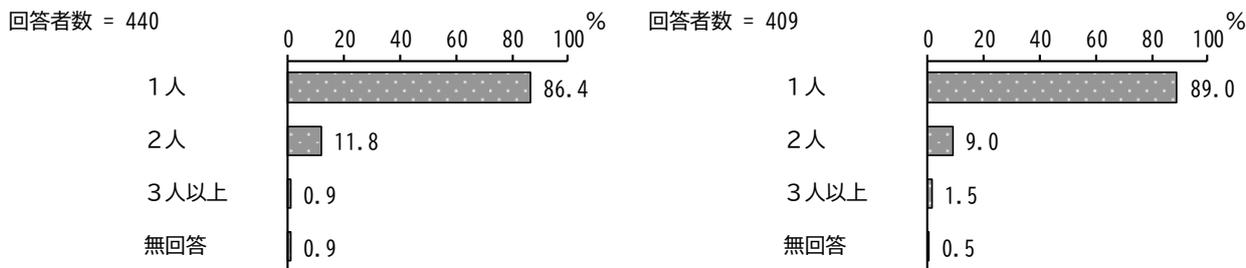
### 兄の人数（左図）および姉の人数（右図）

兄の人数は「1人」の割合が89.1%と最も高くなっています。姉の人数も「1人」の割合が90.1%と最も高くなっています。



### 弟の人数（左図）および妹の人数（右図）

弟の人数は「1人」の割合が86.4%と最も高くなっています。妹の人数も「1人」の割合が89.0%と最も高くなっています。



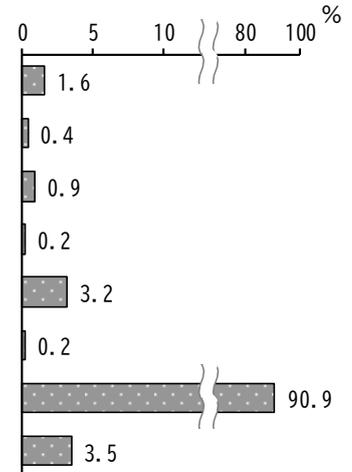
【質問7】 家族の世話をしている人にお聞きします。世話をしていない場合は、「どれもあてはまらない」を選択してください。

(1) 誰の世話をしていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、世話をしている家族としては「きょうだい」が最も多く、次いで「母親」が多くなっています。

回答者数 = 1,612

母親  
父親  
祖母  
祖父  
きょうだい  
その他の人  
どれもあてはまらない  
無回答

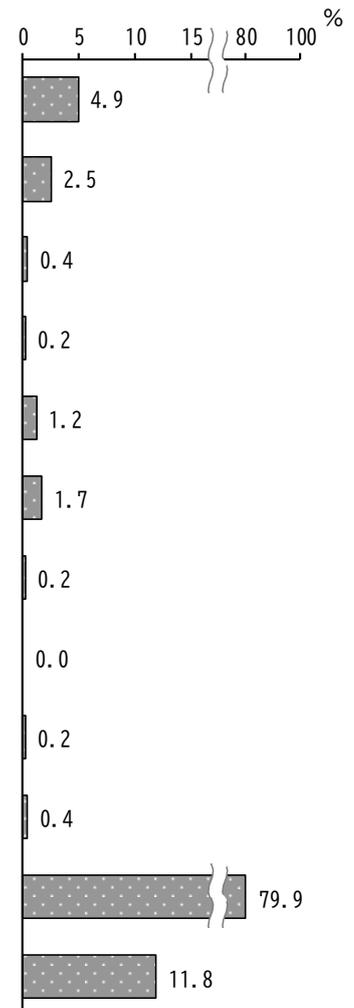


(2) その人のために何をしていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、「家事（食の準備や掃除、洗濯）」が最も多く、次いで「きょうだいの世話」が多くなっています。また、「見守り」「感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）」にも回答があります。

回答者数 = 1,612

家事（食の準備や掃除、洗濯）  
きょうだいの世話  
身体的な介護（入浴やトイレの世話等）  
通院の付き添い  
感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）  
見守り  
通訳（日本語や手話など）  
金銭管理  
薬の管理  
その他の内容  
どれもあてはまらない  
無回答

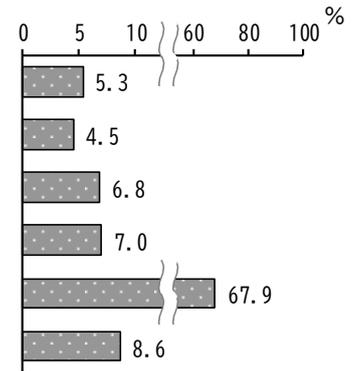


(3) 家事や世話をしている回数を教えてください。(あてはまる番号1つを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、「月に数日」が最も多く、次いで「週に1～2日」が多くなっています。また、「ほぼ毎日」「週に3～5日」にも回答があります。

回答者数 = 1,612

ほぼ毎日  
週に3～5日  
週に1～2日  
月に数日  
どれもあてはまらない  
無回答



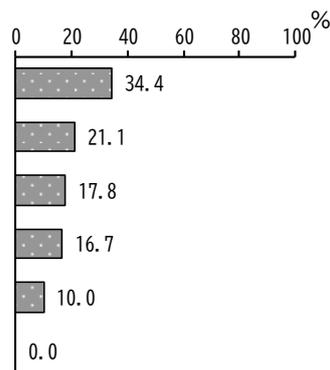
●大阪府調査結果との比較

八尾市調査の結果を「世話をしている家族がいる」回答者に限定して大阪府と比べると、八尾市では「ほぼ毎日」行っている割合が4.7ポイント低くなっています。

【八尾市調査 (世話をしている家族がいる人)】

回答者数 = 90

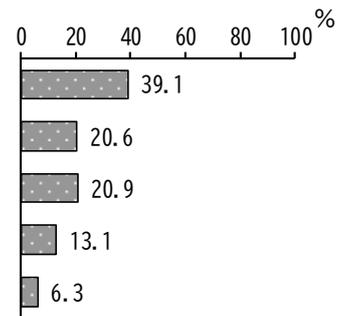
ほぼ毎日  
週に3～5日  
週に1～2日  
月に数日  
どれもあてはまらない  
無回答



【参考：大阪府調査】

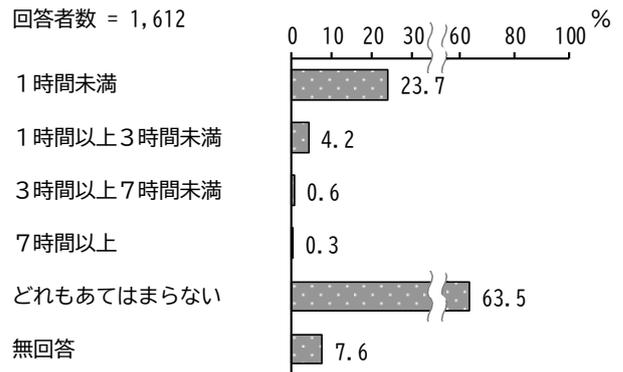
回答者数 = 9,236

ほぼ毎日  
週に3～5日  
週に1～2日  
1か月に数日  
その他・無回答



(4) 平日、1日あたり、どれくらいの時間家事や世話をしていますか。(あてはまる番号1つを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、平日に行っている世話の時間は大半が「1時間未満」「1時間以上3時間未満」です。

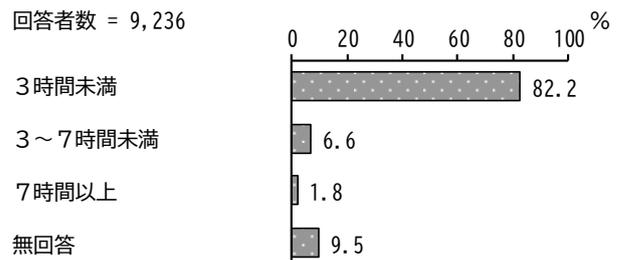
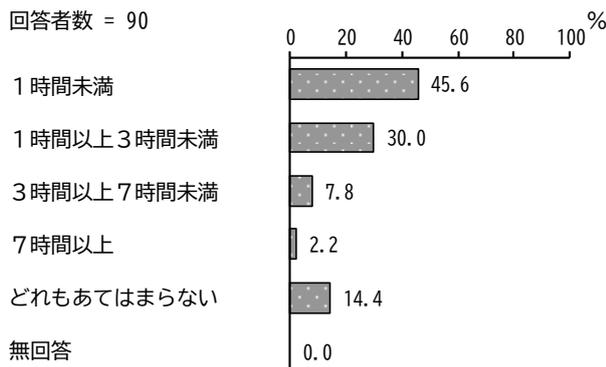


●大阪府調査結果との比較

八尾市調査の結果を、「世話をしている家族がいる」回答者に限定して大阪府と比べると、どちらも、1日3時間未満の回答者が多いものの、「3時間以上7時間未満」「7時間以上」にも回答があり、同様の傾向にあります。

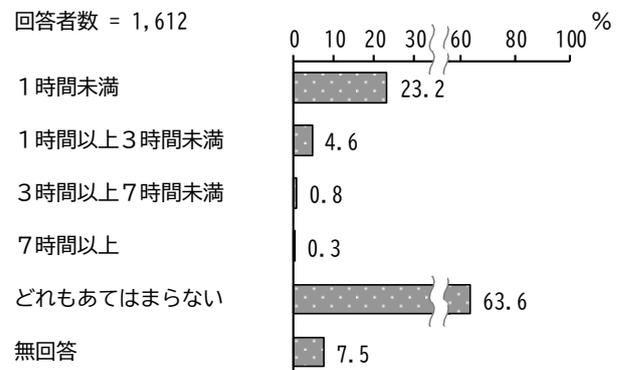
【八尾市調査（世話をしている家族がいる人）】

【参考：大阪府調査】



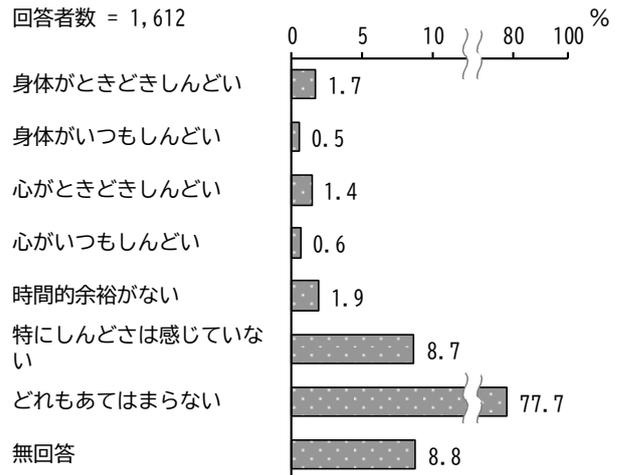
(5) 休日、1日あたり、どれくらいの時間家事や世話をしていますか。(あてはまる番号1つを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、休日に行っている世話の時間の大半が「1時間未満」「1時間以上3時間未満」です。これは、(4)の平日の世話の時間とほぼ同じ傾向であり、世話の状況が平日・休日を問わず同じ状況にあることを示しています。



(6) 世話をすることにしんどさを感じていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、「特にしんどさは感じていない」の割合が最も高くなっており、時間的余裕がない、あるいは心や身体がしんどいと感じる方は比較的少ない状況となっています。



【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者は、「身体がときどきしんどい」「心がときどきしんどい」「心がいつもしんどい」「時間的余裕がない」の割合が高くなっています。家族の世話に伴う負担を感じていることが示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	身体がときどきしんどい	身体がいつもしんどい	心がときどきしんどい	心がいつもしんどい	時間的余裕がない	特にしんどさは感じていない	どれもあてはまらない	無回答
全体	1,612	1.7	0.5	1.4	0.6	1.9	8.7	77.7	8.8
世話をしている家族がいる	90	12.2	4.4	13.3	7.8	10.0	40.0	27.8	—
世話をしている家族がいない	1,465	1.2	0.3	0.8	0.2	1.4	7.0	83.3	6.5

【相談経験の有無別】

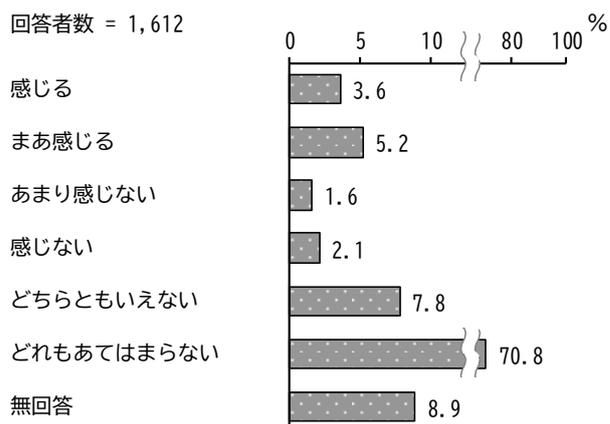
相談経験がある回答者は、「身体がときどきしんどい」「心がときどきしんどい」割合が高くなっています。負担を感じている方が相談窓口につながっていることが示されています。

単位：%

区分	回答者数(件)	身体がときどきしんどい	身体がいつもしんどい	心がときどきしんどい	心がいつもしんどい	時間的余裕がない	特にしんどさは感じていない	どれもあてはまらない	無回答
全体	1,612	1.7	0.5	1.4	0.6	1.9	8.7	77.7	8.8
あてはまる家族がいない	1,025	0.8	0.3	0.5	0.2	1.3	6.9	86.6	3.9
ある	29	13.8	6.9	24.1	20.7	10.3	13.8	44.8	—
ない	424	3.5	0.7	2.6	0.5	3.3	14.6	73.6	2.8

(7) 世話をすることにやりがいを感じていますか。(あてはまる番号1つを選択)

「どれもあてはまらない」を除くと、「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。また、「感じる」「まあ感じる」と回答した方も一定数みられます。



【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族の有無別にみると、世話をしている家族がいる回答者で「まあ感じる」の割合が高くなっています。負担だけではなく、やりがいという形で自らの状況をよりポジティブにとらえる方もいることが示されています。

単位：%

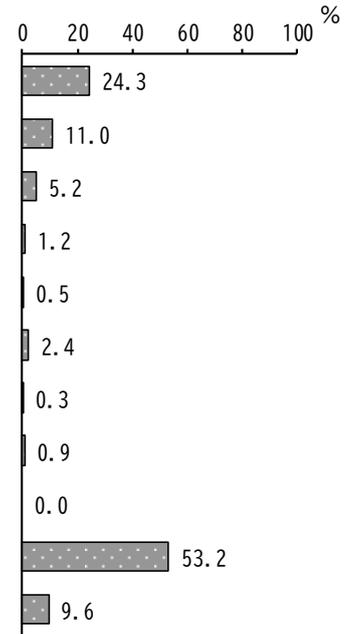
区分	回答者数(件)	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	どちらともいえない	どれもあてはまらない	無回答
全体	1,612	3.6	5.2	1.6	2.1	7.8	70.8	8.9
世話をしている家族がいる	90	11.1	26.7	11.1	11.1	24.4	14.4	1.1
世話をしている家族がいない	1,465	3.3	4.0	1.1	1.6	7.0	76.6	6.4

**(8) あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号すべてを選択)**

「どれもあてはまらない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「いない」の割合が24.3%、「母親」の割合が11.0%となっています。少なくない数の回答者が、家族の世話を単独で担っている現状が示されています。

回答者数 = 1,612

いない  
母親  
父親  
祖母  
祖父  
きょうだい  
親戚の人  
福祉サービスの人（ヘルパーなど）  
その他  
どれもあてはまらない  
無回答



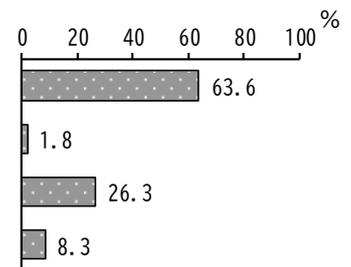
**【質問8】世話を必要としている家族のことや、世話をしていることについて教えてください。**

**(1) 世話を必要としている家族のことや、世話をしていることについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つを選択)**

「あてはまる家族がない」の割合が63.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が26.3%となっています。

回答者数 = 1,612

あてはまる家族がない  
ある  
ない  
無回答



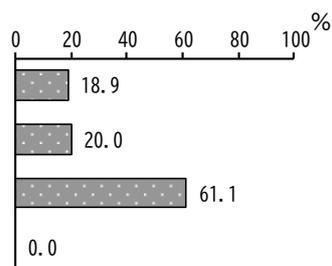
**●大阪府調査結果との比較**

八尾市調査の結果を、「世話をしている家族がいる」回答者に限定して大阪府と比べると、八尾市においては「ない」の割合が15.0ポイント低くなっています。

**【八尾市調査（世話をしている家族がいる人）】**

回答者数 = 90

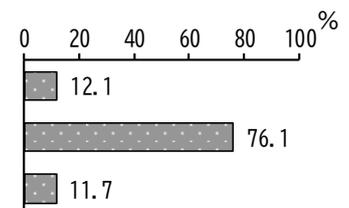
あてはまる家族がない  
ある  
ない  
無回答



**【参考：大阪府調査】**

回答者数 = 9,236

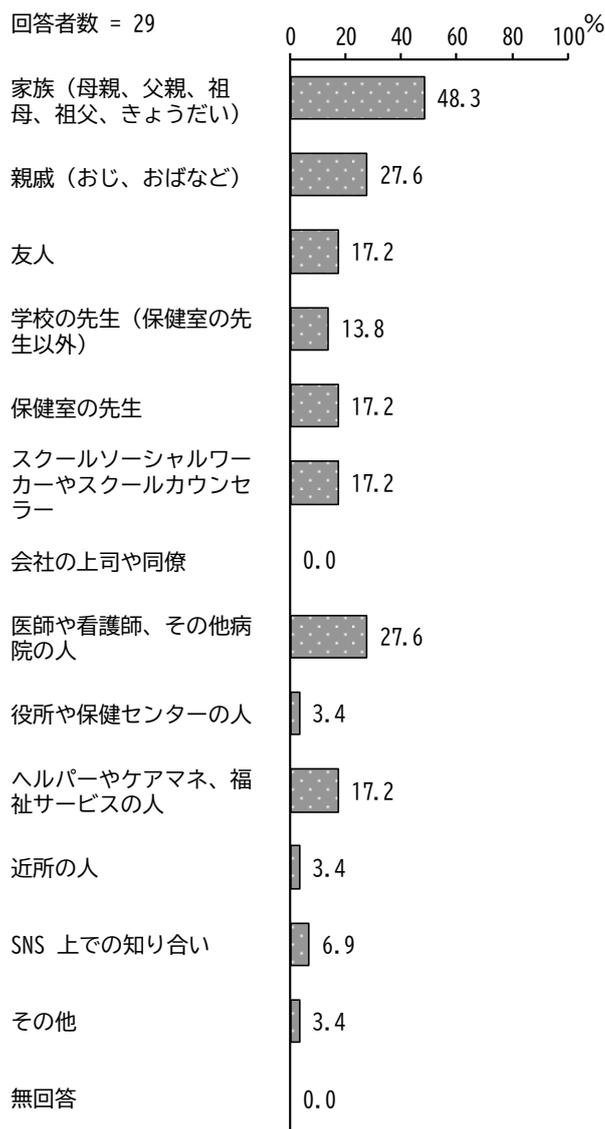
ある  
ない  
無回答・その他



(2)【質問8】(1)に「② ある」と答えた方にお伺いします。相談した相手はどなたですか。

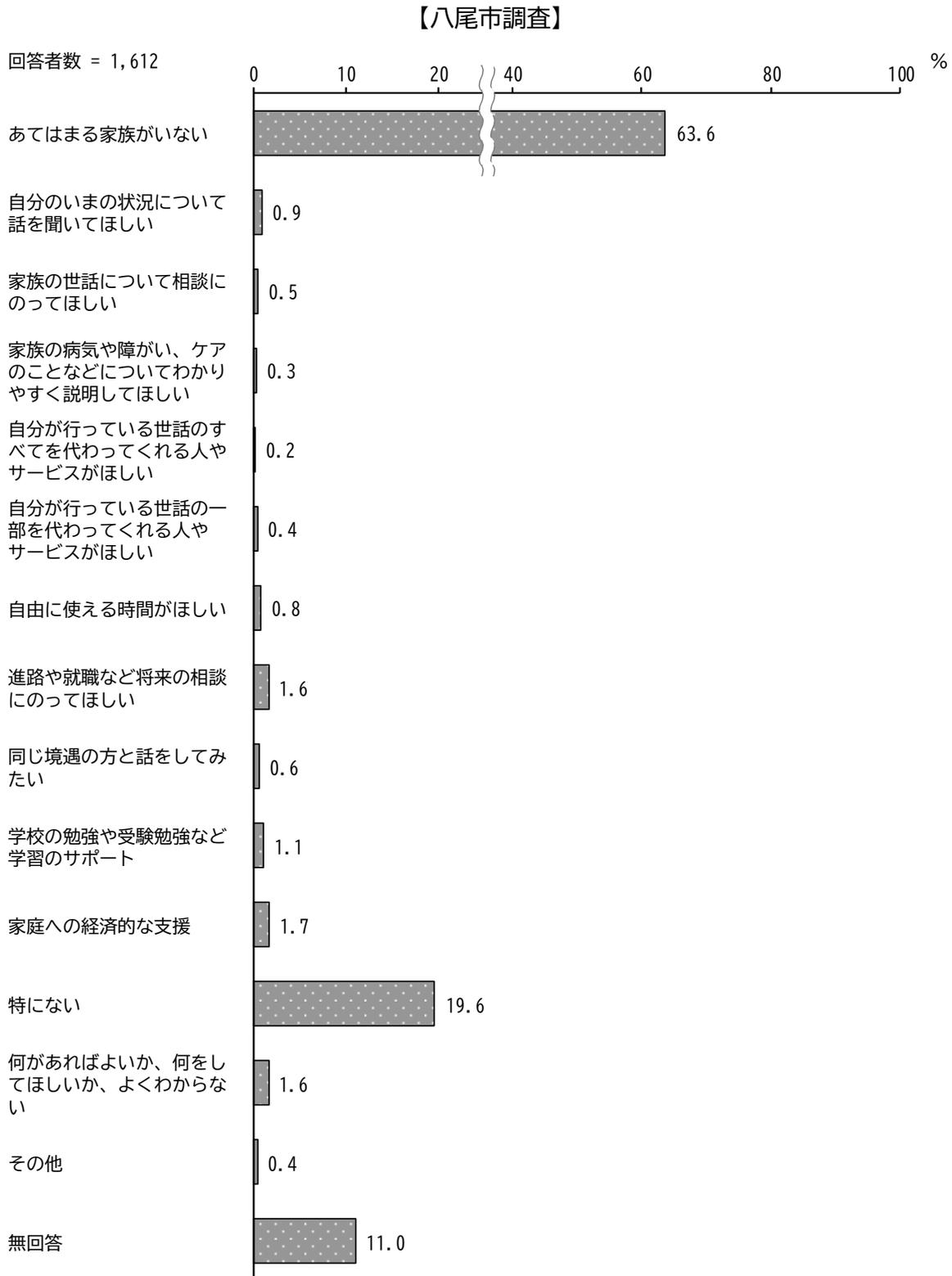
(あてはまる番号すべてを選択)

「家族(母親、父親、祖母、祖父、きょうだい)」の割合が48.3%と最も高く、次いで「親戚(おじ、おばなど)」、「医師や看護師、その他病院の人」の割合が27.6%となっています。親族に次いで、「医師や看護師、その他病院の人」、「保健室の先生」「スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー」「ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人」などの割合が高くなっています。「役所や保健センターの人」の割合は全体の中でも低くなっており、公的相談機関への相談がやや低い傾向にあることが示されています。



【質問9】世話を必要としている家族や家庭のことについて、あればよい、してくれる人がいたらよい、と思うものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

「あてはまる家族がない」の割合が63.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が19.6%となっており、希望する具体的な支援の回答が低くなっています。



●大阪府調査結果との比較

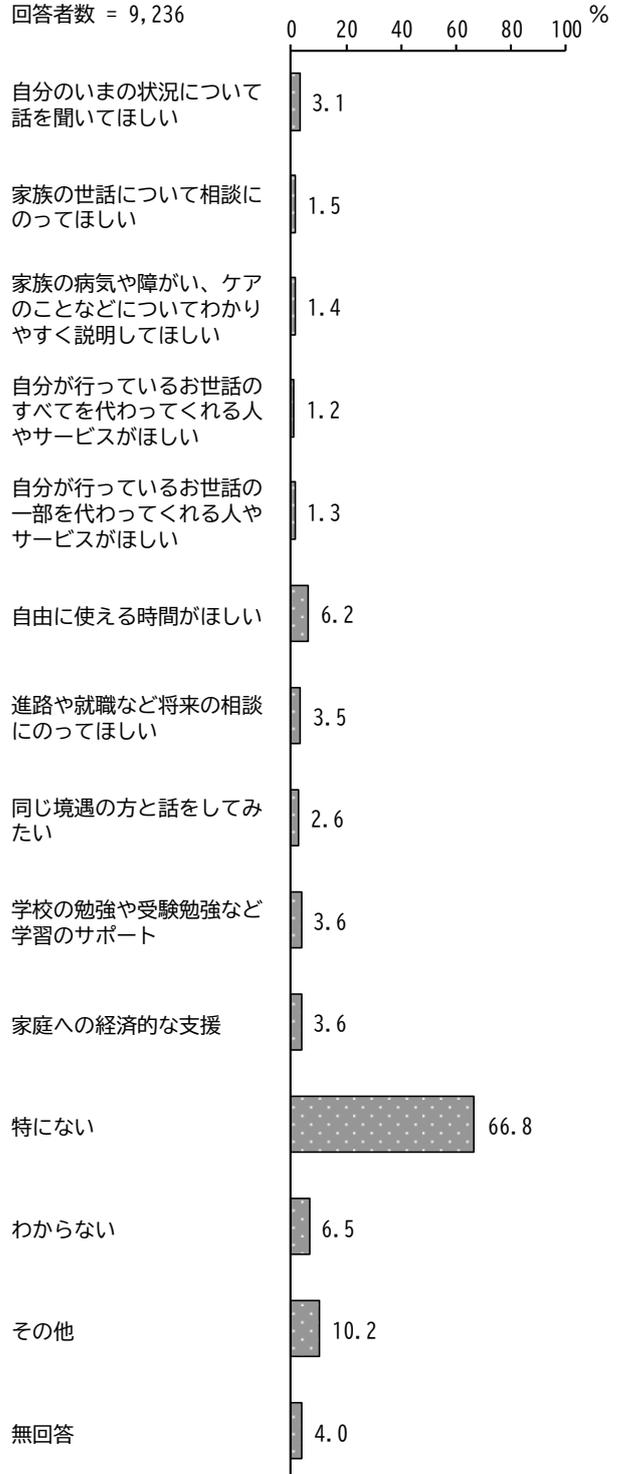
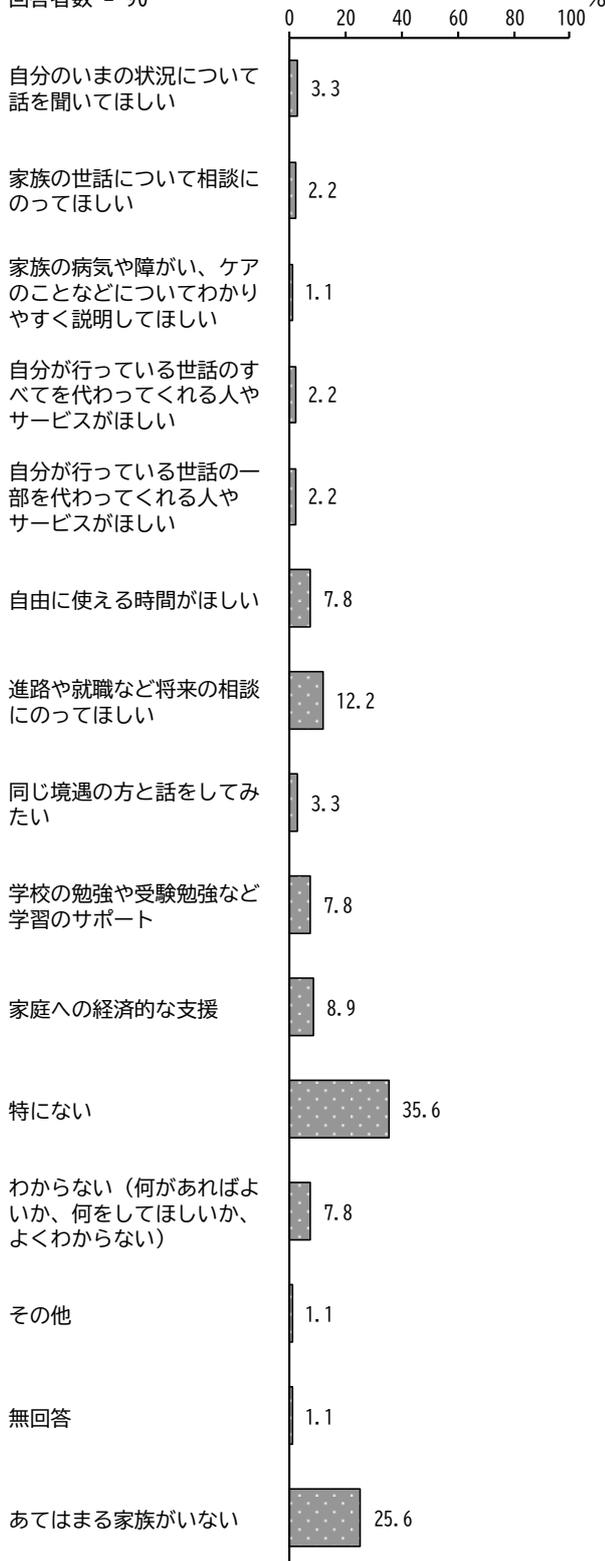
八尾市調査の結果を、「世話をしている家族がいる」回答者に限定して大阪府と比べると、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」など進路・学業に関わる回答が比較的多くなっています。

【八尾市調査（世話をしている家族がいる人）】

【参考：大阪府調査】

回答者数 = 90

回答者数 = 9,236



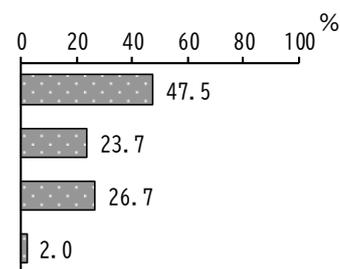
## (6) ヤングケアラーについて

【質問10】「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉をごまでに聞いたことがありましたか。（あてはまる番号1つを選択）

「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が47.5%と最も高く、次いで「聞いたことはない」の割合が26.7%、「聞いたことはあるが、よく知らない」の割合が23.7%となっています。ヤングケアラーの意味まで知っている回答者は全体の約半数ほどであり、より一層の周知が必要な状況が示されています。

回答者数 = 1,612

聞いたことがあり、内容も知っている  
聞いたことはあるが、よく知らない  
聞いたことはない  
無回答



### 【相談経験の有無別】

相談経験のない回答者は、認知度が低い傾向がみられます。ヤングケアラーという状況を認知していないために相談へ至らない可能性があり、一層の周知が求められていることが示されています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答
全体	1,612	47.5	23.7	26.7	2.0
あてはまる家族がいない	1,025	52.6	23.4	23.5	0.5
ある	29	48.3	17.2	34.5	—
ない	424	36.1	25.7	36.6	1.7

### 【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者において、「聞いたことはない」の割合が高くなっています。ヤングケアラー自身が自らの置かれた状況について認知していない傾向があることが示されています。

単位：%

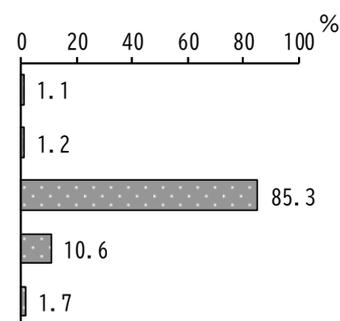
区分	回答者数 (件)	聞いたことがあり、内容も知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	聞いたことはない	無回答
全体	1,612	47.5	23.7	26.7	2.0
世話をしている家族がいる	90	37.8	21.1	40.0	1.1
世話をしている家族がいない	1,465	48.1	23.9	26.6	1.5

【質問 11】 あなた自身は「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると  
 思いますか。（あてはまる番号1つを選択）

「あてはまらない」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 1,612

現在あてはまる  
 現在はあてはまらないが、  
 かつてあてはまったと思う  
 あてはまらない  
 わからない  
 無回答



【世話をしている家族の有無別】

世話をしている家族がいる回答者において、47.8%が自らをヤングケアラーにはあてはまら  
 ないとしています。実際に行っている世話の内容にもよりますが、情報が行きわたらずに自身の置  
 かれている状況を困難なものだとみなしていない可能性もあるため、一層の周知・啓発を行って  
 いくことが有効であると考えられます。

単位：%

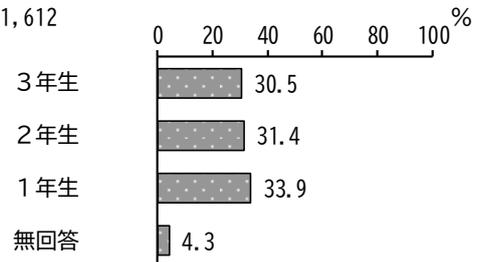
区分	回答者数 (件)	現在あてはまる	現在はあてはま らないが、かつてあ てはまったと思う	あてはまら ない	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,612	1.1	1.2	85.3	10.6	1.7
世話をしている家族がいる	90	8.9	5.6	47.8	36.7	1.1
世話をしている家族がいない	1,465	0.6	1.0	88.1	9.1	1.2

## (7) 回答者属性

### 【生年月日】(あてはまる番号1つを選択)

「1年生」の割合が33.9%と最も高く、次いで「2年生」の割合が31.4%、「3年生」の割合が30.5%となっています。

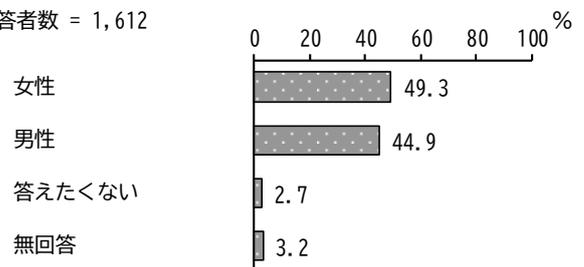
回答者数 = 1,612



### 【性別】(あてはまる番号1つを選択)

「女性」の割合が49.3%となっており、「男性」の割合が44.9%となっています。

回答者数 = 1,612



## (8) 自由意見

「ヤングケアラーへの支援を広げていくために、必要だと思ったことや、学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで感じていることなど」についてお聞きしました。

※一人の方のご意見に複数の要素が含まれる場合は、2件以上としてカウントしています。

分類（全体）	件数	うち世話をしている家族がいる方の件数
1. ヤングケアラーへのサポートについて	41	1
2. ヤングケアラーについての認識・理解について	43	0
3. サービス・支援等について	45	5
4. 相談のできる環境・場所について	41	2
5. 学校生活について	5	0
6. その他	13	1
合計	188	9

全体としては、「ヤングケアラーへのサポートについて」「ヤングケアラーについての認識・理解について」「サービス・支援等について」「相談のできる環境・場所について」に多くの意見がありました。「ヤングケアラーへのサポートについて」では、早期発見や気軽に助けを求めやすい環境をつくる必要があるとする意見がありました。「ヤングケアラーについての認識・理解について」では、ヤングケアラーについての授業をして欲しいという意見や、ヤングケアラーという言葉だけが広がっても意味がないため内容も伝えるべきだという意見などがありました。「サービス・支援等について」では、サポート費用が安く済めばいいなどの意見がありました。「相談のできる環境・場所について」では、相談窓口を充実するとよい、気軽に相談できる人が身近にいれば良いといった意見がありました。

世話をしている家族がいる方からは、「ヤングケアラーのサポートについて」、「サービス・支援等について」、「相談のできる環境・場所について」の意見が寄せられていました。自分からヤングケアラーであると言い出しづらい、金銭的余裕がない、相談相手がいるだけで安心するといった意見がありました。また「その他」の意見として、世話をすることが楽しいとする意見などもみられました。

以下では、いただいた意見の中で主なものを掲載します。一部の意見は、抜粋での掲載となります。

### 1. ヤングケアラーへのサポートについて

#### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・ヤングケアラーの人を早く発見して、その人たちへのサポートをする事が大切だと思います。
- ・ヤングケアラーを助けるサービスがあってもあまり知らないので宣伝する、子どもが助けを求めるには少しハードルが高い気がするので手軽に助けを求めやすい環境を作る。
- ・友達や困っている子ども達に、自分ができる事は何でも協力したいと思う。でも、誰がヤングケアラーをしているとか全くわからない。学校の先生が家庭訪問等で把握して、協力者を募ったりするのが良いかと思います。

#### 【世話をしている家族がいる方の意見】

- ・ヤングケアラーの人は自分から誰かに言いにくいと思います。自分がヤングケアラーという事を自覚している人はそれが他人に知られた所で何の解決にもならないと思っていると思います。実際何か助けてくれるサービスってあるんですかね。

### 2. ヤングケアラーについての認識・理解について

#### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・学校でヤングケアラーについての授業をしてほしい。周りは聞いたことはあるけれど具体的なことを知らないと思います。
- ・ヤングケアラーという言葉だけが広がっているだけでは意味がないので、内容や対応方法まで多くの人知っていて、理解があるような状況にしていくために、周りの人がどのような手助けや支援ができるかということを広めていくことが必要だと思います。
- ・ヤングケアラーの存在をもっと学校などで教えることやネットで発信していくことが大事だと思う。

### 3. サービス・支援等について

#### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・私はヤングケアラーを必要としている家庭には行政が積極的に支援をしていく必要があると考えています。
- ・こういったアンケートの機会を増やしてヤングケアラーの子どもの人数、年齢層、悩み事を測るとともに、物資も大切だけど何より勉強や部活、友達と遊ぶ時間などの時間の確保をしてあげてほしい。子ども時代の時間は何事にも変え難い貴重な時間なので、代行してくれる人を派遣するサービスがあれば良いと思う。
- ・周りでヤングケアラーの人は見聞きした事はありません。周りへの周知とのサポートが必要だと思います。サポート費用なども安く済めばいいなと思います。高いと利用しにくいと思います。

#### 【世話をしている家族がいる方の意見】

- ・障がい児や高齢者の世話・介護を行いやし環境を作らなければならないと思う。具体的には、所得別に、家族を介護施設へ預ける費用の補助をするなど。
- ・母が体調よくない日が多くネットスーパーやデリバリーを頼むことで食費がかかり、自分は3食きちんと食べさせてもらっているのですが、母は食事の回数を減らして何とか金銭のやりくりをしているので母の身体のことを心配でこの物価高の中で貧困家庭への継続的な経済的支援がない現状でこの先どうなるのか不安です。
- ・土日、学校休みなのですが、休みの日も世話をしないといけないのでゆっくり休むことがあまりできない。家族と旅行に行きたいけど、世話をしないといけないので家族と出かけることが少ないのもっと旅行を増やしたいです。預かってくれる施設を増やしてほしいです。
- ・地域の登録などなく誰でもいつでも参加できるような学童保育などがあれば私自身が楽になるかなと思います。
- ・必要だと思ったことはお金の支援と世話を代わってくれる人が必要だと思います。

#### 4. 相談のできる環境・場所について

##### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・ヤングケアラーのための相談窓口を充実したら良いかと思います。
- ・担任の先生などや、スクールカウンセラーの人が親身になって話を聞いたり相談に乗ってくれるといいと思います。
- ・どんな事でも、もっと気軽に相談できる人が身近にいれば良いと思う。中学校でもクラスに1人、担任のように専属の心理カウンセラーがついていても良い時代だと思う。担任の先生は、人によっては親身ではないと感じる人がいるからだ。その方を通して、ヤングケアラーだけではなく必要な助けを受けられる窓口的な役割の方がいてほしい。

##### 【世話をしている家族がいる方の意見】

- ・家族には相談しにくいこととかを聞いてくれる人がいるだけで、すごく安心するから必要だと思う。
- ・ヤングケアラーというものは今日初めて知りました。周りの人達は味方と言って味方をしてくれますが、ちゃんと話を聞いて貰えないのが辛いです…家族はちゃんと聞いてくれましたが学生の時はちゃんと聞いてもらえなかったので聞いて欲しい人がいるかもしれないので、話を聞いてあげて欲しいなと思います。

#### 5. 学校生活について

##### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・家族の世話により学校へ行くのが難しい人のために、家からでも十分な教育を受けられるような制度があれば良いと思う。

## 6. その他

### 【世話をしている家族がいない方の意見】

- ・企業のテレワークやフレックスタイム制の導入。
- ・高齢者はあまり機器に詳しくないので、簡単に誰でも操作できるオンラインをつなげられるシステムがあればいいな、と思います。スマホを持ってないので、市町村で貸し出しができる機器を配って欲しいです。

### 【世話をしている家族がいる方の意見】

- ・お世話することは楽しいのでこれからも続けていきたいと思っています。

## IV まとめと考察

### (1) 八尾市におけるヤングケアラーの現状

今回の調査においては、「世話をしている家族がいる」と回答した回答者（5.6%）がヤングケアラーに該当すると定義しています【質問7】。世話の対象としては「きょうだい」が最も多く【質問7（1）】、行っている世話の内容としては「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」「見守り」等の日常生活のサポート、「感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど）」の割合が高くなっています【質問7（2）】。世話の頻度としては、「週に1～2日」「月に数日」が多く【質問7（3）】、平日・休日ともに「3時間未満」の方が大半となっています【質問7（4）（5）】。

家族構成別に見た場合、「ひとり親家庭」においてヤングケアラーが多い傾向がみられます【質問6】。ひとり親家庭の場合、保護者が一人で就労して子育てをしているので、低年齢のきょうだいの世話を年齢の高いきょうだいが行う必要が高くなったり、保護者の感情面のサポートをするなど、ヤングケアラーになってしまうことが推測されます。また、保護者の親、すなわち子どもからみた祖父母の世話が必要な状況にあると、保護者に代わって子どもが祖父母の世話をせざるを得ないということが起きていると考えられます。ヤングケアラーということで、子ども・子育てという視点のみから支援策を検討するのではなく、「ひとり親」「高齢者」等といった複合的な視点に立った支援を検討することが重要と考えられます。

### (2) ヤングケアラーの健康状態や生活状況

調査結果からは、ヤングケアラーは「身体がときどきしんどい」「心がときどきしんどい」と感じている傾向にあることが示されています【質問1】。また、ヤングケアラーの方は学校に「よく欠席する」傾向【質問3】や、学業や友達作りに十分時間をとることができていない傾向【質問4】、成績や進路に悩みを抱えている傾向【質問5】、世話に対してしんどいと感じたり、時間的余裕がないと感じたりしている傾向【質問7（6）】がみられます。家族の世話が心身の健康状態や学生としての生活に負の影響を及ぼしている可能性があることから、より一層のヤングケアラーの把握と支援の充実が求められているといえます。

なお、調査結果では、ヤングケアラーのうち40.0%が「特にしんどさを感じていない」ことが示されています。また、ヤングケアラーのうち26.7%が世話にやりがいを「まあ感じる」と答えていることも示されています【質問7（7）】。ヤングケアラーを、支援を必要とする困難な状況とだけとらえるのではなく、世話をすることをポジティブに考えている子どもがいるということ considering、より多面的に捉えて検討する必要があると考えられます。

### (3) ヤングケアラーの認知度

ヤングケアラーの認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」が47.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が23.7%、「聞いたことはない」が26.7%となっています【質問10】。全体としては、ヤングケアラーの意味を把握している回答者は半数程度であり、引き続き周知が必要です。

また、世話をしている家族の有無別にみた場合、世話をしている家族がいる回答者（ヤングケアラー）の方が、ヤングケアラーについて聞いたことがないとする割合が高くなっています【質問10】。また、世話をしている家族がいる方であっても、自らをヤングケアラーに当てはまると

は考えていない方も半数近くいる状況となっています【質問 11】。ヤングケアラーという状況に置かれている当事者自身において、ヤングケアラーの認知度が低いということは、ヤングケアラー当事者から声上がる可能性が低いことを意味することから、子どもはもとより、学校関係者や近隣住民等の周囲の大人、介護など専門機関等、直接子どもの支援に携わっていない人や組織を含めた社会全体でヤングケアラーへの理解を深めることが、ヤングケアラーへの気づきにつながると考えられます。特に、今回の調査においてヤングケアラーが家族以外に相談相手としているのが学校関係者や福祉分野の関係者であるという結果になったことから、その結果を踏まえた効果的な周知啓発を検討していくことが重要です。

#### （４）ヤングケアラーについての相談

調査結果では、世話をしている家族がいる方で、世話について相談をしたことがある割合は半数以下となっています【質問 8（１）】。相談経験のある方の中でも、市役所や保健センターなどの公的機関への相談割合は全体の中でも低い状況にあります【質問 8（２）】。ヤングケアラーの方は、自ら専門的・公的相談機関に相談する可能性は少ないと想定されます。したがって、ヤングケアラーの方を必要な支援につなぐためには、上記の通り社会全体がヤングケアラーに関する知識や理解を深めるとともに、とりわけ、ひとり親家庭や高齢者への支援に携わる福祉分野の関係者が、同居する子どもがヤングケアラーではないかと気づいた場合に、適切にこども総合支援センター「ほっぷ」等へつなげることができるネットワークを構築していくことが必要です。

#### （５）ヤングケアラーが求める支援

ヤングケアラーが求める支援としては、進路・学業に関するサポートや経済的支援が比較的高い割合で求められている結果となっています【質問 9】。自由意見では、「物価高の中で貧困家庭への継続的な経済的支援がない現状でこの先どうなるのか不安です」「家族を介護施設へ預ける費用の補助をする」といった経済的支援へのニーズや、「家族には相談しにくいこととかを聞いてくれる人がいるだけで、すごく安心するから必要」といった相談支援へのニーズ、「預かってくれる施設を増やしてほしいです」「地域の登録などなく誰でもいつでも参加できるような学童保育などがあれば私自身が楽になるかなと思います」「お金の支援と世話を代わってくれる人が必要だと思います」といった、世話を代替する施設・サービスへのニーズなどがみられました。

ヤングケアラー当事者はヤングケアラーだという自覚がない人も含み、インターネットや SNS を日常的に使用している子どもが多いとみられることから、当事者に届く情報発信や相談しやすい環境づくりが必要です。また、ヤングケアラーの置かれている状況は家庭ごとに様々であり、上記のように求める支援も多様で複合的な状況となっています。今後も当事者支援を通して積極的な情報収集を図り、ヤングケアラーが実際に求める支援の内容を把握することで適切なサービスを提供していくことが重要になります。なお、個別支援においては、複合的な課題の解決を図るために、関係機関の連携は不可欠であり、こども総合支援センター「ほっぷ」においては、今後も連携を促進し、支援をコーディネートすることが重要であり、さらなる啓発と相談体制の充実に取り組む必要があります。

## V 参考資料(市立小・中学校における子どもの状況把握について)

- ・八尾市教育委員会では、各学期ごとに記名式の学校生活アンケートを実施し、子どもの状況把握に努めています。
- ・アンケート結果をもとに聞き取りを行うなど、子どもの気持ちに寄り添いながら困りごとの解消に向けた支援を行っています。

### 【調査概要】

#### 令和5年度第1回(1学期)調査

- ・調査期間：令和5年6月19日～令和5年7月7日
- ・調査対象者：市立小学校1～6年生 12,395人  
市立中学校1～3年生 6,075人

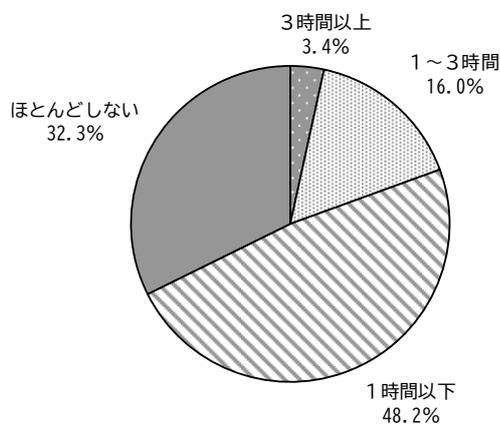
※小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校前期課程を含みます。集計結果については、小学校は3～6年生を対象としています。

### 【調査結果(一部抜粋)】

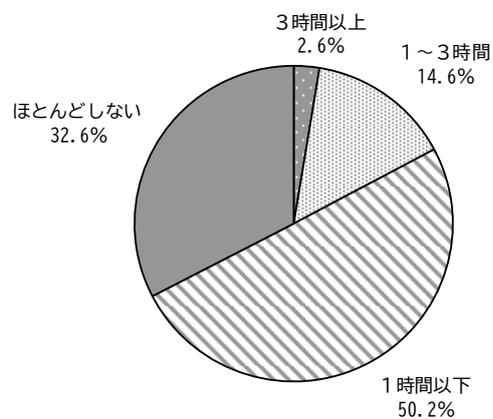
#### 11. 学校がある日に「家庭の仕事」を分担している。

(家庭の仕事…料理・洗濯・掃除・送り迎え・介護・見守りなど)

【小学3～6年生】

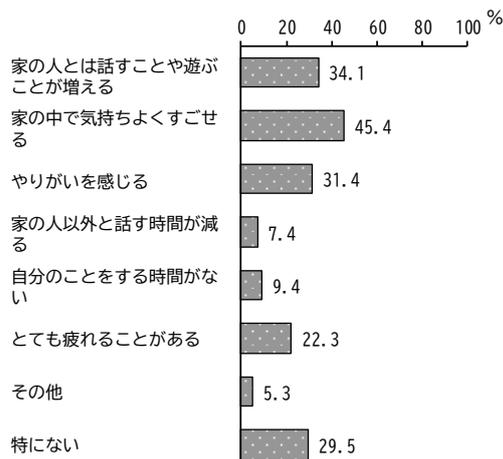


【中学校】

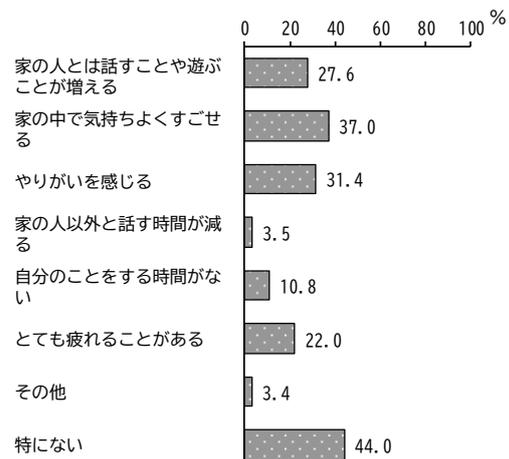


#### 12. 「家庭の仕事」を分担していることで、あなたが感じていることはありますか。

【小学3～6年生】



【中学校】



【調査概要】

令和5年度第2回（2学期）調査

・調査期間：令和5年10月30日～令和5年11月24日

・調査対象者：市立小学校1～6年生 12,351人

市立中学校1～3年生 6,058人

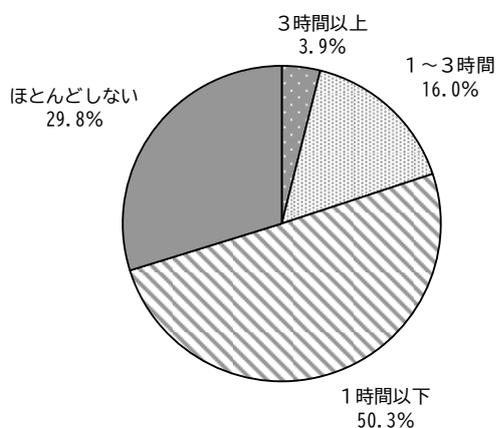
※小学校には義務教育学校前期課程を、中学校には義務教育学校前期課程を含みます。集計結果については、小学校は3～6年生を対象としています。

【調査結果（一部抜粋）】

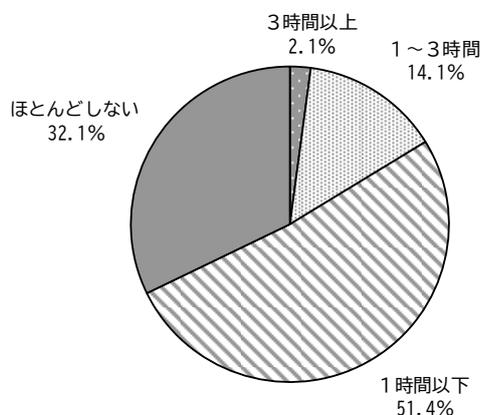
11. 学校がある日に「家庭の仕事」を分担している。

（家庭の仕事…料理・洗濯・掃除・送り迎え・介護・見守りなど）

【小学3～6年生】

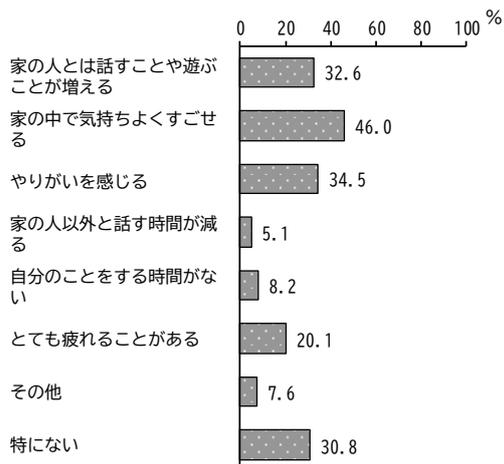


【中学校】

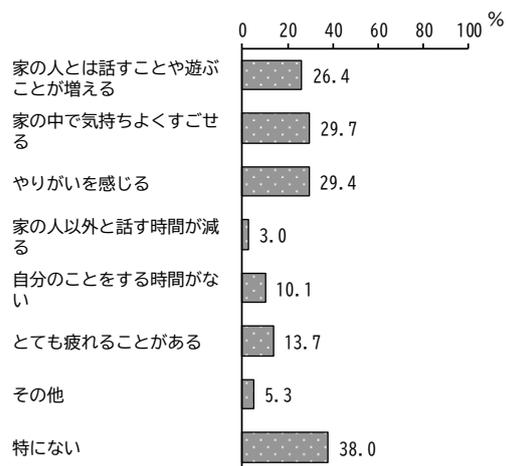


12. 「家庭の仕事」を分担していることで、あなたが感じていることはありますか。

【小学3～6年生】



【中学校】



# 調査票

## 八尾市中学校卒業後の子どもに関するアンケート調査のご協力をお願い

高校生世代のみなさま  
保護者さま

八尾市では、高校1年生から高校3年生相当の年齢（2005年4月2日～2008年4月1日生まれ）の八尾市民を対象に、生活の中でのお悩みや困りごとなどを聞かせていただき、それらの解決に必要な支援策の検討や具体的な対応を行うためにウェブアンケート調査を実施することとなりました。

答えにくい質問は答えなくてもかまいませんので無理のない範囲で回答してください。

アンケート結果については、個人が特定されない形で八尾市が取りまとめうえで、市のホームページに掲載したり、今後の支援策の検討のために使用します。回答者の秘密を守ることなどには十分配慮してすめますので、ご安心ください。

みなさんの回答の一つひとつが大切な意見です。ぜひ調査へのご協力にご理解をお願いいたします。

保護者のみなさまにおかれましては、お子様ご自身に回答いただけるようにご協力賜りますようお願い申し上げます。

※個人情報公表したり、回答が学校の成績などに影響するものではありません。

※アンケートの回答は、5分から10分くらいかかります。

※アンケートにご協力いただいた方に、まちのコイン「500やおやお」を差し上げます（詳しくは裏面をご覧ください）。

※日本語以外の言語（英語・中国語・ベトナム語）で回答したい方は0120-756-555までご連絡ください。

### アンケートの回答方法

#### ①スマートフォン・タブレットで回答する

右の2次元コードをスマートフォン・タブレットなどで読み取り、表示されたアンケートフォームに回答を入力してください。最後まで回答が終わったら「送信」ボタンを押してください。

ID:\*\*\*\*\*

※このIDは「まちのコイン」申請にも使用いたします。



次のURLからも回答することができます。  
<https://questant.jp/q/PKW2IHMI>

#### ②紙の調査票で回答する

同封している調査票に回答を記入し、返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

調査に関するお問い合わせはこちらまで

0120-756-555（フリーダイヤル） 受付時間：9:00～17:00（土日、祝日は除く）

### 注意事項

このアンケートは、令和5年11月24日（金）までに回答してください。

# 調査に回答してまちのコイン “やおやお”を手に入れよう！！

## まちのコインについて

「まちのコイン」は、誰かのちょっとしたお手伝いごとや、環境に良いこと、楽しい体験など、まちの関わりが見える化されます。コインをためると色々な体験をしたり、景品が当たる抽選に参加することができます。

詳しくはこちら

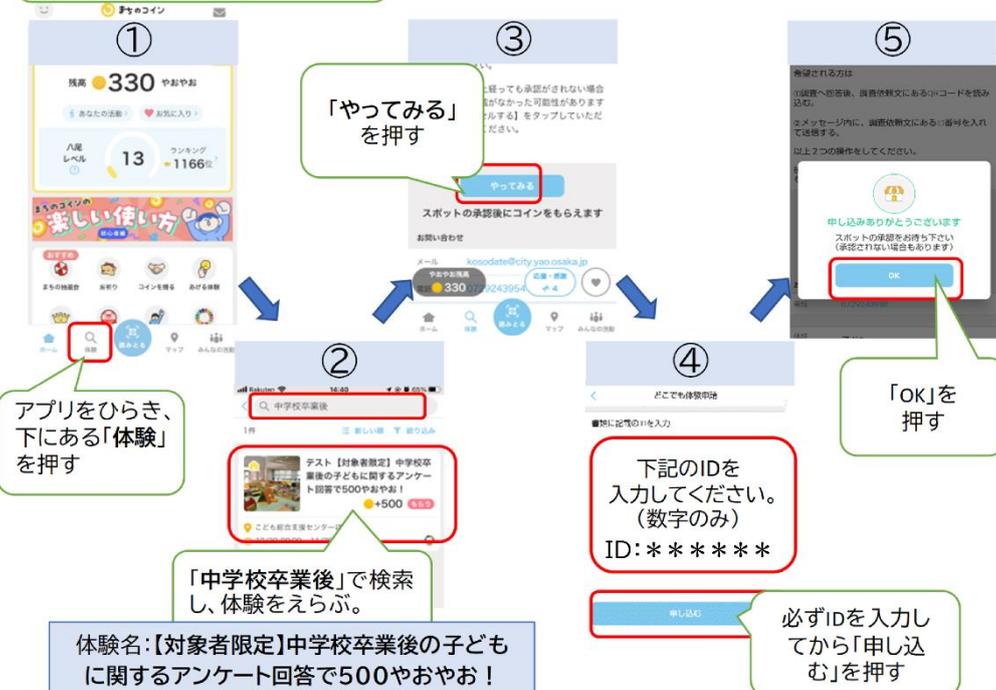


調査にご協力いただいた方へ  
“500\*やおやお”プレゼントします。  
希望される方は下の手順にそって  
申請ください。

<まちのコインの問合せ先>  
八尾市魅力創造部産業政策課 電話: 072-924-3964

※“やおやお”はまちのコインのよび名です

## まちのコインの申請手順



★申請にはアプリのインストールが必要です。

アプリのダウンロードはこちらから⇒

iPhoneの方



Androidの方



後日、こども総合支援課が承認し、まちのコインをプレゼントします

## 中学校卒業後の子どもに関するアンケート調査票

### アンケートの回答方法

#### ①スマートフォン・タブレットで回答する

右の2次元コードをスマートフォン・タブレットなどで読み取り、  
表示されたアンケートフォームに回答を入力してください。  
最後まで回答が終わったら「送信」ボタンを押してください。



ID:\*\*\*\*\*

※このIDは“まちのコイン”申請にも使用いたします。

次の URL から回答することができます。

<https://questant.jp/q/PKW2IHMI>

#### ②紙の調査票で回答する

この調査票に回答を記入し、返信用封筒に入れて、ポストに投かんしてください。

### 注意事項

このアンケートは、令和5年11月24日（金）までに回答してください。

## 1. あなたについてお伺いします。

【質問1】 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまる番号すべてを選択）

- |               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| ① よい          | ② まあよい       | ③ ふつう        |
| ④ 身体がときどきしんどい | ⑤ 身体がいつもしんどい | ⑥ 心がときどきしんどい |
| ⑦ 心がいつもしんどい   |              |              |

【質問2】 あなたのふだんの活動について教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

- |   |         |
|---|---------|
| ① 高校（高等専門学校、特別支援学校、各種学校やフリースクールを含む）などに通っている | ⇒2ページ目へ |
| ② 就労している                                    | ⇒3ページ目へ |
| ③ その他（ ）                                    | ⇒4ページ目へ |





**【③ その他を選択された方へ】**

**2. ふだんの生活についてお伺いします。**

**【質問3】** 現在、就職や進学をしていない理由について教えてください。(あてはまる番号すべてを選択)

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| ① 病気・ケガ    | ② 人間関係に不安         |
| ③ 保護者の希望   | ④ 家事や家族の世話や介護で忙しい |
| ⑤ 意欲がわからない | ⑥ 特にない            |
| ⑦ その他 (    | )                 |

**【質問4】** 現在、就職または進学を希望していますか。

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| ① 就職希望であり、就職活動をしている       |   |
| ② 就職希望であるが、就職活動はしていない     |   |
| ③ 進学希望であり、進学に向けた活動をしている   |   |
| ④ 進学希望であるが、進学に向けた活動はしていない |   |
| ⑤ その他 (                   | ) |

**【質問5】** 現在、悩みや困っていることはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| ① 友人関係               | ② 就職活動や進路               |
| ③ 自分の経済状況            | ④ 家庭の経済状況               |
| ⑤ 自分と家族との関係          | ⑥ 家族内の人間関係(両親の仲が良くないなど) |
| ⑦ 病気や障がいや介護の必要な家族のこと | ⑧ 家の事情で趣味などの活動ができないこと   |
| ⑨ 自分のために使える時間が少ないこと  | ⑩ 特にない                  |
| ⑪ その他 (              | )                       |

**【以下、共通】**

**3. 家族や家庭のことについてお伺いします。**

**【質問6】** あなたが現在、一緒に住んでいる家族（仕事や進学など離れて暮らしている家族を除く）について教えてください。（あてはまる番号すべてを選択）

- |         |         |          |
|---------|---------|----------|
| ① 母親    | ② 父親    | ③ 祖母     |
| ④ 祖父    | ⑤ 兄（ ）人 | ⑥ 姉（ ）人  |
| ⑦ 弟（ ）人 | ⑧ 妹（ ）人 | ⑨ その他（ ） |

**【質問7】** 家族の世話をしている人にお聞きします。世話をしていない場合は、「どれもあてはまらない」を選択してください。

(1) 誰の世話をしていますか。（あてはまる番号すべてを選択）

- |              |         |         |
|--------------|---------|---------|
| ① 母親         | ② 父親    | ③ 祖母    |
| ④ 祖父         | ⑤ きょうだい | ⑥ その他の人 |
| ⑦ どれもあてはまらない |         |         |

(2) その人のために何をしていますか。（あてはまる番号すべてを選択）

- |                             |            |
|-----------------------------|------------|
| ① 家事（食事の準備や掃除、洗濯）           | ② きょうだいの世話 |
| ③ 身体的な介護（入浴やトイレの世話等）        | ④ 通院の付き添い  |
| ⑤ 感情面のサポート（ぐちを聞く、話し相手になるなど） | ⑥ 見守り      |
| ⑦ 通訳（日本語や手話など）              | ⑧ 金銭管理     |
| ⑨ 薬の管理                      | ⑩ その他の内容   |
| ⑪ どれもあてはまらない                |            |

(3) 家事や世話をしている回数を教えてください。（あてはまる番号1つを選択）

- |              |          |
|--------------|----------|
| ① ほぼ毎日       | ② 週に3～5日 |
| ③ 週に1～2日     | ④ 月に数日   |
| ⑤ どれもあてはまらない |          |

(4) 平日、1日あたり、どれくらいの時間家事や世話をしていますか。  
（あてはまる番号1つを選択）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① 1時間未満      | ② 1時間以上3時間未満 |
| ③ 3時間以上7時間未満 | ④ 7時間以上      |
| ⑤ どれもあてはまらない |              |

(5) 休日、1日あたり、どれくらいの時間家事や世話を行っていますか。

(あてはまる番号1つを選択)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① 1時間未満      | ② 1時間以上3時間未満 |
| ③ 3時間以上7時間未満 | ④ 7時間以上      |
| ⑤ どれもあてはまらない |              |

(6) 世話をすることにしんどさを感じていますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ① 身体がときどきしんどい | ② 身体がいつもしんどい    |
| ③ 心がときどきしんどい  | ④ 心がいつもしんどい     |
| ⑤ 時間的余裕がない    | ⑥ 特にしんどさは感じていない |
| ⑦ どれもあてはまらない  |                 |

(7) 世話をすることにやりがいを感じていますか。(あてはまる番号1つを選択)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ① 感じる       | ② まあ感じる      |
| ③ あまり感じない   | ④ 感じない       |
| ⑤ どちらともいえない | ⑥ どれもあてはまらない |

(8) あなた以外に家族のお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- |          |                    |         |
|----------|--------------------|---------|
| ① いない    | ② 母親               | ③ 父親    |
| ④ 祖母     | ⑤ 祖父               | ⑥ きょうだい |
| ⑦ 親戚の人   | ⑧ 福祉サービスの人(ヘルパーなど) |         |
| ⑨ その他( ) | ⑩ どれもあてはまらない       |         |

**【質問8】** 世話を必要としている家族のことや、世話をしていることについて教えてください。

(1) 世話を必要としている家族のことや、世話をしていることについて誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つを選択)

- |               |      |      |
|---------------|------|------|
| ① あてはまる家族がいない | ② ある | ③ ない |
|---------------|------|------|

(2) 【質問8】(1)に「② ある」と答えた方にお伺いします。

相談した相手はどなたですか。(あてはまる番号すべてを選択)

- |                         |                            |
|-------------------------|----------------------------|
| ① 家族(母親、父親、祖母、祖父、きょうだい) | ② 親戚(おじ、おばなど)              |
| ③ 友人                    | ④ 学校の先生(保健室の先生以外)          |
| ⑤ 保健室の先生                | ⑥ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー |
| ⑦ 会社の上司や同僚              | ⑧ 医師や看護師、その他病院の人           |
| ⑨ 役所や保健センターの人           | ⑩ ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人       |
| ⑪ 近所の人                  | ⑫ SNS上での知り合い               |
| ⑬ その他( )                |                            |

【質問9】 世話を必要としている家族や家庭のことについて、あればよい、してくれる人がいたらよい、と思うものはありますか。(あてはまる番号すべてを選択)

- ① あてはまる家族がない
- ② 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
- ③ 家族の世話について相談にのってほしい
- ④ 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
- ⑤ 自分が行っている世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
- ⑥ 自分が行っている世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
- ⑦ 自由に使える時間がほしい
- ⑧ 進路や就職など将来の相談にのってほしい
- ⑨ 同じ境遇の方と話をしてみたい
- ⑩ 学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
- ⑪ 家庭への経済的な支援
- ⑫ 特にない
- ⑬ 何があればよいか、何をしてほしいか、よくわからない
- ⑭ その他 ( )

#### 4. ヤングケアラーについてお伺いします。

ヤングケアラーとは、一般的には、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話・介護などを日常的に行っている18歳未満の子ども」を言います。

ヤングケアラー 10の例示

【出典：厚生労働省「子どもが子どもでいられる街に。～みんながヤングケアラーを支える社会を目指して～」ホームページ】



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

【質問10】「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」という言葉がこれまでに聞いたことがありますか。（あてはまる番号1つを選択）

- ① 聞いたことがあり、内容も知っている      ② 聞いたことはあるが、よく知らない  
③ 聞いたことはない

【質問11】あなた自身は「ヤングケアラー（または若者ケアラー）」にあてはまると思いますか。（あてはまる番号1つを選択）

- ① 現在あてはまる      ② 現在はあてはまらないが、かつてあてはまったと思う  
③ あてはまらない      ④ わからない

## 5. あなたのことについて差し支えなければ教えてください（答えなくても可）

【生年月日】（あてはまる番号1つを選択）

- ① 2005年4月2日～2006年4月1日生まれ  
② 2006年4月2日～2007年4月1日生まれ  
③ 2007年4月2日～2008年4月1日生まれ

【性別】（あてはまる番号1つを選択）

- ① 女性      ② 男性      ③ 答えたくない

ヤングケアラーへの支援を広げていくために、必要だと思ったことや、学校や周りの大人にしてもらいたいこと、あなたがお世話をしていることで感じていることなどを自由に書いてください。※自由記述

調査は以上です。

ご協力ありがとうございました。

ふだんの生活や進路などで困っており相談を希望される方は、同封のチラシをご覧ください。

あなたご自身のことでなくても、お友達やお知り合いの方についての相談も可能です。

（このアンケート調査に関するお問い合わせはこちら）  
0120-756-555（フリーダイヤル）  
（ふだんの生活や進路などで困っており相談を希望される方はこちら）  
八尾市 こども若者部 こども総合支援課  
072-924-3954

右の二次元コードから  
メールでもご相談できます。



八尾市  
中学校卒業後の子どもに関する  
アンケート調査結果報告書  
令和6年3月

八尾市 こども若者部 こども総合支援課  
TEL 072-924-3954  
FAX 072-924-9304

刊行物番号 R5-215